

第2次

# 札幌市生涯学習推進構想

— 概要版 —



学ぶ

活かす

つなぐ

# 策定の趣旨

## ■ 策定に至る経緯

札幌市では、平成7年4月に「札幌市生涯学習推進構想」を策定し、これまで本市の生涯学習施策を推進してきました。

しかし、この構想の策定から10年以上が経過し、本市を取り巻く社会情勢や生涯学習が担う役割も変化しつつあります。

そのため、構想で示された施策や事業の現状を把握し、時代の変化に対応した生涯学習推進の新たな指針を策定し、生涯学習に関連する施策や事業の新たな展開を図る必要が生じました。



札幌市生涯学習推進構想  
(平成7年4月策定)

## ■ 策定の目的

今後の生涯学習推進の基本的な考え方と方向性を示し、これらに基づき関連施策を総合的・計画的・体系的に進めていくことを目的としています。

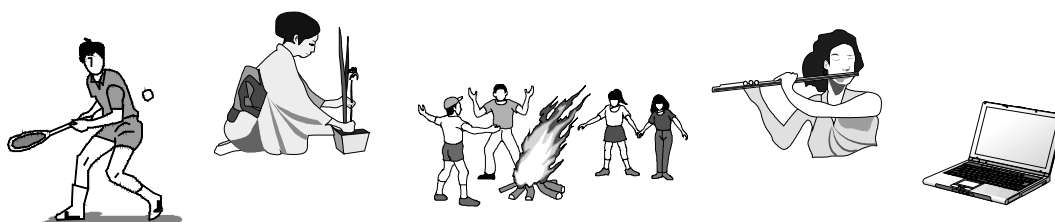
## ■ 構想の位置づけ

新たな構想は、「第4次札幌市長期総合計画」の個別部門計画とし、平成19年度から概ね10年間を推進期間とします。

### ～ 生涯学習とは ～

学校教育における教育や学習のみにとどまらず、自らの意思と選択によって、人生のあらゆる成長過程で、各人の興味・関心や生活領域に応じ、さまざまな学習を続けていくことです。

生涯学習は、スポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動など、幅広い活動の中でも行われるものです。

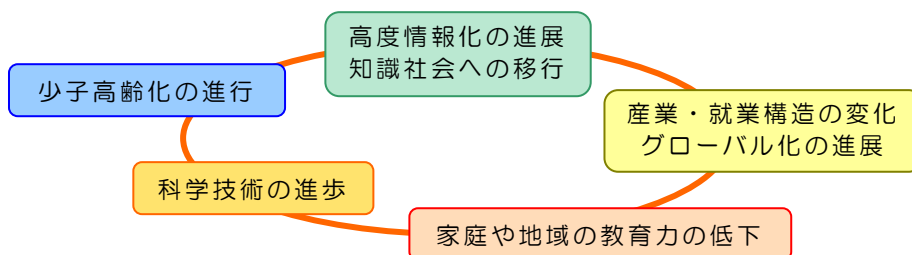


本文中で📖の印がある字句は、10ページに用語解説があります。

# 生涯学習の必要性と社会的背景

## ■ 時代の変化



社会情勢の変化に的確に対応するために、あらゆる人が、いつでも、どこでも、生涯学習に取り組むことができるよう、引き続き環境を整備していく必要があります。



## ■ 生涯学習の役割の変化

時代の変化に対応した生涯学習の振興に関する国や北海道の提言・動向も踏まえて推進します。

### 生涯学習を振興していく上で今後重視すべき観点

- ▶ 国民全体の人間力  の向上
- ▶ 生涯学習における新しい「公共」  の視点の重視
- ▶ 人の成長段階ごとの政策の重点化
- ▶ 国民一人ひとりの学習ニーズを生かした、広い視野に立った多様な学習の展開等
- ▶ ITの活用



### 今後重点的に取り組むべき分野

- ▶ 職業能力の向上
- ▶ 家庭教育への支援
- ▶ 地域の教育力の向上
- ▶ 健康対策等高齢者への対応
- ▶ 地域課題の解決

※「今後の生涯学習の振興方策について（審議経過の報告）」から  
（平成16年3月中央教育審議会生涯学習分科会）

# 札幌市の生涯学習の現状

## ■ 生涯学習推進構想（平成7年4月策定）の総括

「札幌市生涯学習総合センター（愛称：ちえりあ）」をオープンし、「さっぽろ市民カレッジ」を開設するなど、構想に記載された事業の9割をすでに実施し、生涯学習環境の整備は着実に進んでいます。

しかしながら、地域における生涯学習の支援や、大学など高等教育機関との連携、学習成果が適切に評価され社会に還元される仕組みづくりなど、まだ、十分に進展していない事柄があります。

## ■ 札幌市の特性

全国的に少子高齢化が進む中、とりわけ札幌市の合計特殊出生率（1.01）は、全国平均（1.29）と比較しても低い水準にあります。

地域の状況を見ると、町内会加入率は70%台で推移しており、市内のNPO法人の登録数は年々増加しています。このことから、地縁だけではない、新たな人と人とのつながりの可能性も広がっているといえます。

また、市内のインターネット利用者の割合は年々増加するなど、本格的な情報化社会を迎えています。一方、高齢者の利用及び利用希望が低いことから、情報格差<sup>④</sup>に配慮した施策の展開が必要となります。

## ■ 大学等におけるリカレント教育の現状

公開講座、社会人選抜、科目等履修生制度など社会人が必要に応じて学校等に戻り、学べるという「リカレント教育」のための各種制度は大学等において充実してきています。

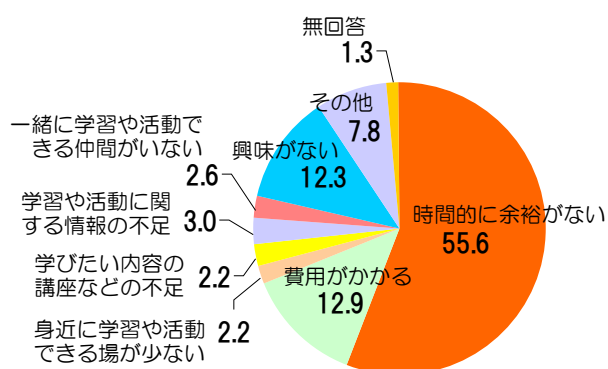
さらに、平成18年4月、札幌市立大学が開学し、同年10月には都心部に「札幌サテライトキャンパス」を開設しました。

このように、各大学でのリカレント教育の充実に加え、市立大学のサテライトキャンパスでリカレント教育事業を開始したことから、本市の高等教育機関による有機的な生涯学習関連施策を展開する環境が整いつつあります。

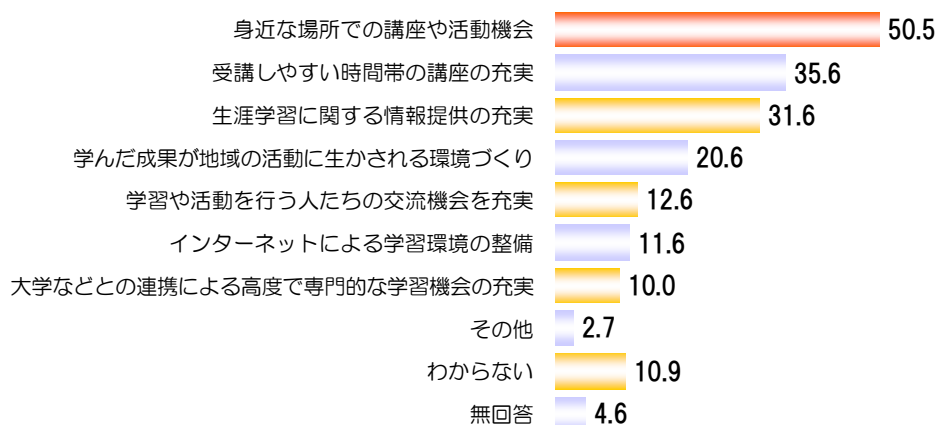
## ■ 市民ニーズ

平成17年度に実施した市政世論調査の結果によると、現在の学習活動に対する満足度は65.7%と高い一方、生涯学習活動を行っていないと回答した市民の割合が41.4%に上っています。

### 生涯学習を行っていない理由



### 生涯学習を行う環境に対する意向



## ■ 学習機会

市内の各種公共施設の多くは、平成18年度から指定管理者制度に移行し、今後、多様な生涯学習関連事業の展開が期待されています。

また、民間教育事業（カルチャーセンター）、専修学校・各種学校、市民活動団体・NPOの講座、大学・短大等の公開講座など、行政以外の担い手による生涯学習関連事業の提供が活発に行われています。

# 今後の生涯学習推進の基本的な考え方

## ■ 今後の生涯学習推進のあり方

札幌市の現状から、次の点に留意して生涯学習施策を推進します。

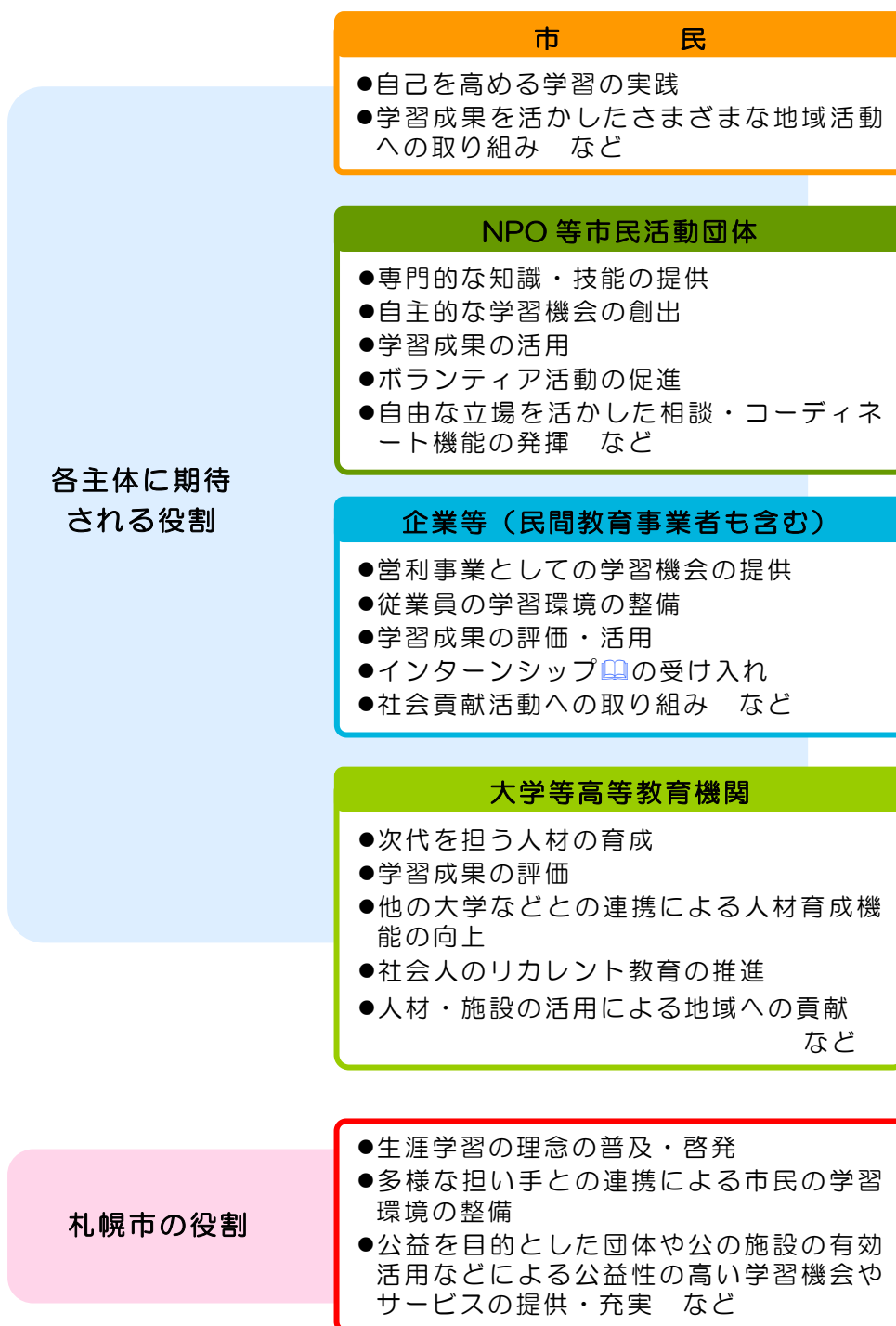
- ▶ あらゆる人々が、いつでも、どこでも生涯学習に取り組むことができるよう、今後も引き続き、生涯学習環境を整備します。
- ▶ 地域における生涯学習支援や大学等高等教育機関との連携による生涯学習のさらなる充実を目指します。
- ▶ 学んだ成果を実践に活かし、学びを継続できる仕組みづくりを進めます。

- ▶ 個人の興味、関心と社会的な課題とのバランスや、生きがいの追求と職業的知識・技術の習得との調和に配慮します。
- ▶ 市民がまちづくりに主体的に参画し、互いに支え合い、協力し合うという「協働」の視点にたち、学んだ成果を活かすことのできる環境を整備します。
- ▶ 行政だけではない多様な生涯学習の担い手による、互いの役割を意識した学習機会の提供等により生涯学習施策を進めます。

- ▶ 市民一人ひとりの学習ニーズに対応した、多様な学習の展開を図ります。
- ▶ 人の成長段階における課題を明確にし、重点的に対応します。
- ▶ 国において重点的に取り組むべき分野として指摘された①職業能力の向上、②家庭教育への支援、③地域の教育力の向上、④健康対策等高齢者への対応、⑤地域課題の解決について、積極的に対応します。

## ■ 各主体の役割

今後の生涯学習の推進にあたっては、多様な生涯学習の担い手との協力により進めていきます。



# 構想の施策体系

## 3つの基本施策

## 施策の方向性

### 基本施策Ⅰ 「いきいきと学ぶ」

主体的に社会に関わるとともに、感性豊かで伸びやかな札幌人をはぐくむため、市民の学びを多角的に支援します。

市民が生涯にわたって学べる環境づくり

全ての人が参加できる学習環境の充実

社会的な課題と市民ニーズに対応した学習支援

### 基本施策Ⅱ 「成果を活かす」

市民の学びの成果を、社会貢献活動や地域に活かすとともに、札幌を支える人づくり、活力ある札幌のまちづくりに活用します。

学習成果を活かした社会参画の推進

地域のまちづくりへの活用

活力ある札幌のまちの創造

### 基本施策Ⅲ 「学びをつなぐ」

市民がより学習しやすい環境を整えるため、地域に密着しつつ、高度なニーズにも対応した継続的な学びと実践の仕組みづくりを進めます。

学びを結ぶ人材育成と相談体制の充実

生涯学習関連施設の連携強化

多様な主体との連携による生涯学習の展開



## 施策の展開

## (事業の展開例)

- ❖ 乳幼児期からの子どもたちの健やかな育ちの支援……………図書館などでの読み聞かせ事業、子育て家庭への情報提供
- ❖ 学齢期の子どもたちの「学ぶ力」の育成……………職場体験学習の充実、自然体験学習の推進
- ❖ 青年期の人たちの勤労観・職業観の育成……………インターンシップの促進、キャリア教育の推進
- ❖ 壮年期の人たちの職業能力や教育力の向上に向けた支援……………リカレント教育のための各種制度の充実
- ❖ 中年期の人たちの地域活動に向けた支援……………地域活動参画に向けた学習機会の充実
- ❖ 高齢期の人たちへの健康づくり、生きがいつくりの支援……………職業能力の維持・向上の学習支援、インターネット関連講座開設

- ❖ 人間尊重の学習の推進……………人権教育・男女共同参画の観点からの学習支援
- ❖ 「学び直し」や学びの基礎力の習得などの支援……………再就職や起業等に役立つ学習機会や学習情報の提供
- ❖ 全ての市民が学習しやすい環境の整備……………インターネットを利用したサービス提供

- ❖ 社会的な課題に対応した学習機会の充実……………時代の変化に伴い顕在化した課題に対する学習
- ❖ スポーツ・レクリエーションの振興……………学校の体育館開放などによる身近なスポーツ環境の充実
- ❖ 芸術・文化の振興……………優れた芸術文化の鑑賞機会の創出

- ❖ 学習活動の発表や交流の場の充実……………ボランティア活動などを行う者同士の交流の場や機会の充実
- ❖ ボランティア、市民活動を支える学習支援……………施設ボランティアに共通する課題についての講座の新設

- ❖ 地域における受け皿づくり……………学んだ成果を地域のニーズにつなげる仕組みづくり
- ❖ 地域への関心を高める学習の推進……………自然や歴史、文化など札幌の魅力を再発見する学習機会の充実
- ❖ 区における特色ある地域づくり……………それぞれの区の人材・地域性を活かした特色ある講座の開設

- ❖ 札幌の特性を活かした魅力あるまちづくり……………札幌の知恵を活かした特色ある産業の振興
- ❖ 札幌のまちを支える人材の育成……………経営感覚をもった地域リーダーの養成
- ❖ 札幌人の能力活用……………中高年層の知識、技術や技能の後継者への伝承

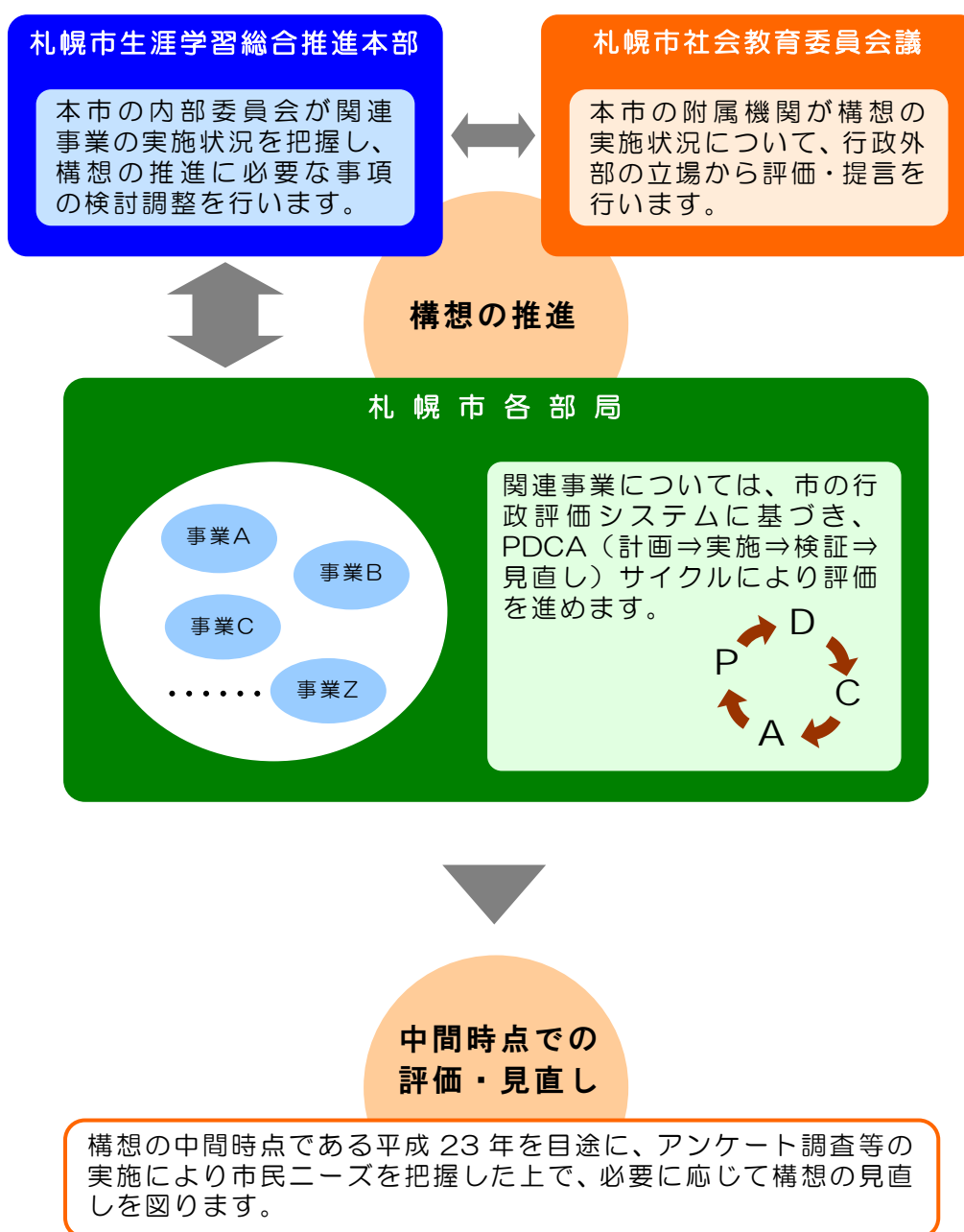
- ❖ 生涯学習コーディネーターの育成……………施設間の連絡調整能力をもった人材の育成
- ❖ 学習相談体制等の充実……………情報通信機器を活用した学習相談の充実

- ❖ 地域における施設の有機的なネットワークの形成……………地域の人材、施設の有機的な連携による講座の開設
- ❖ さまざまな教育機関における連携……………中学校区内における幼小中の交流促進
- ❖ 時代の変化に対応した専門施設の機能強化……………施設の専門性を高める方策の検討

- ❖ さまざまな場所における学習機会の充実……………都心部でのさっぽろ市民カレッジの実施
- ❖ 人材登録・派遣制度、出前講座の展開……………地域人材リストの共有、出前講座情報の集約
- ❖ 大学等高等教育機関との連携によるリカレント教育の推進……………市内、近郊の大学との生涯学習推進に関する協議機関の設置

# 構想の推進のために

構想の推進にあたっては、基本施策の体系に沿って事業を展開していきます。その際には、他の関連する個別計画（部門別計画）などとの整合性に留意するとともに、札幌市関係部局をはじめ、関係する機関・団体とも連携を図りながら取り組んでいきます。



用

語

解

説

📖 人間力 (P2)

社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力。

---

📖 新しい「公共」 (P2)

「公共」は、行政だけではなく、様々な担い手により行っていくという考え。

---

📖 情報格差 (P3)

パソコンやインターネットなどの情報通信技術 (ICT) を使いこなせる者と使いこなせない者との間に生じる、待遇や貧富、機会の格差。個人間の格差の他に、国家間、地域間の格差を指す場合もある。デジタルデバイド (digital divide)。

---

📖 指定管理者制度 (P4)

平成 15 年 9 月の地方自治法改正により、普通地方公共団体が公の施設の管理を他の団体に行わせる仕組みとして、従来の「管理委託制度」に変わって導入された制度。

その目的は、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることとされている。

---

📖 インターンシップ (P6)

学生・生徒が、在学中から企業などで、自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験をすること。

---

📖 キャリア教育 (P8)

望ましい勤労観・職業観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育のこと。

---

札幌市では、本市の生涯学習情報を提供するため、ホームページ（「札幌市の生涯学習」）を開設しています。

平成19年度は、第2次札幌市生涯学習推進構想の推進に向けて、生涯学習に関する情報を集約しましたが、市民の皆様にもその情報を利用していただけるようホームページを更新しました。

#### [生涯学習情報リンク集のページ](#)

大学、カルチャーセンターなど生涯学習関連事業を実施している施設ホームページへのリンク集です。

#### [生涯学習関連事業検索ページ](#)

講座名で探す？ 会場で探す？

平成19年度の生涯学習関連事業の実施状況を検索できるページです。

札幌市の生涯学習

検索

で今すぐアクセス 



マナベアーくん

## 第2次札幌市生涯学習推進計画

さっぽろで 学ぶ・活かす・つなぐ

概要版

発行：札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課  
〒060-0002札幌市中央区北2条西2丁目  
TEL 011-211-3871

市政等資料番号 01-S00-08-191